



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月6日
上場取引所 東

上場会社名 神戸電鉄株式会社
コード番号 9046 URL <https://www.shintetsu.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 信彦
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長 (氏名) 坂本 義之 TEL 078-576-8671
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	16,492	3.7	1,802	15.7	1,467	18.2	1,151	17.2
2023年3月期第3四半期	15,907	3.7	1,558	23.0	1,241	29.3	982	32.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,299百万円 (22.1%) 2023年3月期第3四半期 1,064百万円 (53.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	143.28	—
2023年3月期第3四半期	122.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	89,083	22,539	25.3
2023年3月期	90,804	21,243	23.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 22,539百万円 2023年3月期 21,243百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,130	3.8	1,510	8.6	1,000	0.2	700	3.6	87.11

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	8,061,566株	2023年3月期	8,061,566株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	26,699株	2023年3月期	25,598株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	8,035,442株	2023年3月期3Q	8,036,681株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載することとしています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行されるなど、社会経済活動の正常化が進み、景気がゆるやかに回復しているものの、不安定な国際情勢によりエネルギー価格及び原材料価格が高止まりするなど、先行きに不透明感が続く状況で推移しました。

この間、当社グループにおいては、各部門において増収やコストの削減に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は16,492百万円となり前年同期に比べ585百万円(3.7%)増加、営業利益は1,802百万円となり前年同期に比べ244百万円(15.7%)増加、経常利益は1,467百万円となり前年同期に比べ226百万円(18.2%)増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,151百万円となり前年同期に比べ169百万円(17.2%)増加しました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

運 輸 業

鉄道事業においては、「安全の絶対確保」を図るため、安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んだほか、「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業」等の補助を活用しながら、軌道の強化等の工事を推し進め、運転保安度の一層の向上に努めました。また、2023年4月から導入した「鉄道駅バリアフリー料金制度」により、バリアフリー施設の整備を着実に推進するとともに、引き続き安心・安全・快適な鉄道を目指してまいります。

営業活動については、「鉄道開業95周年」を記念して、2023年7月にメモリアルトレインの運行等を実施したほか、12月に小野市出身のオリックス・バファローズ東晃平投手による粟生線小野駅一日駅長イベントを開催するなど、神鉄ファンの獲得に努めました。また、当社沿線への旅客誘致を図るため、「有馬・六甲周遊1dayパス」や「有馬温泉 太閤の湯クーポン」等の企画乗車券を発売するとともに、新たに、当社沿線の神話や歴史に関する謎解きクイズと一日フリー乗車券がセットになった企画乗車券を発売しました。

神戸市との連携事業である「神鉄沿線モヨウガエ」及び「KOBE Rail&Trail」では、地域との交流を通じた駅周辺の活性化や、当社沿線の魅力発信に努めました。引き続き地域の皆様や沿線自治体と連携したプロジェクトを推進しながら鉄道の利用促進に取り組んでまいります。

バス事業においては、企業や学校の貸切送迎業務をはじめ積極的な営業活動を展開し増収に努めるとともに、2023年12月より路線バスの運賃改定を実施いたしました。

タクシー業においては、乗務員の採用に注力するとともに、2023年5月に運賃改定を実施するなど、収益の拡大に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の運輸業の営業収益は9,918百万円となり、前年同期に比べ620百万円(6.7%)増加し、営業利益は1,052百万円となり、前年同期に比べ327百万円(45.1%)増加しました。

不 動 産 業

土地建物賃貸業においては、収益の拡大を図るため2023年10月に新規物件(大阪府茨木市)を取得したほか、当社が保有する賃貸物件へのテナント誘致に努めました。

また、土地建物販売業においては、神戸市北区の販売土地を売却しました。

なお、神戸市及び神戸市道路公社から管理運営業務を受託している「神戸市立三宮駐車場(神戸市中央区)」他5施設について、円滑な運営に努めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の不動産業の営業収益は1,499百万円となり、前年同期に比べ16百万円(1.1%)減少し、営業利益は637百万円となり、前年同期に比べ72百万円(10.2%)減少しました。

流 通 業

食品スーパー業においては、青果部門を中心とした生鮮部門の品揃えを強化するなど、販売促進策を各店舗で積極的に展開しました。また、2023年5月に続き11月の「創立50周年記念セール第2弾」をはじめご当地フェア等の集客策を実施するとともに、移動スーパー「とくし丸」の顧客開拓を精力的に行うなど、収益の拡大に努めました。

コンビニ業及び飲食業においては、各店舗で増収に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の流通業の営業収益は3,930百万円となり、前年同期に比べ193百万円(5.2%)増加し、営業利益は68百万円(前年同期は営業損失3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ1,721百万円減少の89,083百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、買掛金及び借入金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ3,017百万円増加の66,543百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ1,296百万円増加の22,539百万円となり、自己資本比率は25.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年10月30日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,443	1,516
売掛金	1,097	1,172
短期貸付金	66	89
販売土地及び建物	274	234
商品	123	121
貯蔵品	418	507
その他	2,246	1,128
流動資産合計	5,670	4,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,523	39,744
機械装置及び運搬具(純額)	5,121	4,726
土地	34,912	35,069
建設仮勘定	126	238
その他(純額)	546	489
有形固定資産合計	81,230	80,266
無形固定資産		
その他	576	518
無形固定資産合計	576	518
投資その他の資産		
投資有価証券	1,217	1,463
長期貸付金	285	212
退職給付に係る資産	1,405	1,456
その他	435	411
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	3,326	3,526
固定資産合計	85,133	84,312
資産合計	90,804	89,083
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,206	817
短期借入金	18,463	17,059
未払法人税等	130	183
前受金	819	1,363
賞与引当金	51	21
その他	3,012	3,179
流動負債合計	24,683	22,625
固定負債		
長期借入金	38,686	37,923
繰延税金負債	224	368
再評価に係る繰延税金負債	3,471	3,471
退職給付に係る負債	112	113
長期末払金	773	539
長期預り保証金	933	926
その他	676	575
固定負債合計	44,877	43,918
負債合計	69,560	66,543

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	7,650	8,802
自己株式	△91	△94
株主資本合計	19,270	20,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	333	494
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,503	1,503
退職給付に係る調整累計額	136	123
その他の包括利益累計額合計	1,973	2,121
純資産合計	21,243	22,539
負債純資産合計	90,804	89,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収益	15,907	16,492
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	12,445	12,765
販売費及び一般管理費	1,903	1,924
営業費合計	14,349	14,690
営業利益	1,558	1,802
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	31	34
雑収入	126	78
営業外収益合計	158	113
営業外費用		
支払利息	421	425
雑支出	53	23
営業外費用合計	475	448
経常利益	1,241	1,467
特別利益		
工事負担金等受入額	12	122
特別利益合計	12	122
特別損失		
工事負担金等圧縮額	12	122
特別損失合計	12	122
税金等調整前四半期純利益	1,241	1,467
法人税、住民税及び事業税	166	204
法人税等調整額	92	111
法人税等合計	258	315
四半期純利益	982	1,151
親会社株主に帰属する四半期純利益	982	1,151

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	982	1,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98	160
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整額	△15	△13
その他の包括利益合計	81	147
四半期包括利益	1,064	1,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,064	1,299
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	9,282	1,364	3,729	14,376	1,531	15,907	—	15,907
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	16	150	8	175	728	904	△904	—
計	9,298	1,515	3,737	14,551	2,260	16,811	△904	15,907
セグメント利益又は損失(△)	725	709	△3	1,431	108	1,539	18	1,558

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額18百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	9,904	1,362	3,921	15,189	1,303	16,492	—	16,492
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	13	136	9	159	751	910	△910	—
計	9,918	1,499	3,930	15,348	2,054	17,403	△910	16,492
セグメント利益	1,052	637	68	1,759	22	1,781	20	1,802

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額20百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。